

# 知行合一

学校教育目標

夢実現  
潤いと輝きにあふれる学校

「力足らざる者は中道（ちゅうどう）にして廢す。今女（なんじ）は図（かぎ）れり。」【論語】は、「力の足りない者が途中であきらめるのは仕方がない。しかし、今あなたは始めてもいないのに限界を決め、あきらめようとしている。夢（目標）を決めたならば、まずは自分なりに努力してみなさい」の意味。

芦北町立田浦中学校だより 第7号

令和3年10月25日

文責 校長 沖田 龍藏

## 学校行事(my弁当の日、うたせ船体験、論語集会、郡市中体連駅伝大会、文化祭)充実の秋で、たくましく成長する田浦中生徒！



10月はコロナ禍にあって、先週の文化祭をはじめ、保護者の皆様のご理解・ご協力を得ながら多くの学校行事を無事に実施し、生徒の仲間づくりや絆づくりができました。文化祭は総合的な学習で学んだ地域理解や進路学習を、自分の将来や人生につなげ考えたことをステージ上から発信していました。また、本県は「英語教育日本一」を掲げ、本校でも英検取得等の取組に力を入れています。代表生徒が「英語暗唱」を見事に披露してくれました。展示の部では国語、理科、技術、美術等の教科、保健、給食、体育等の委員会、芸術部の作品と日頃の学習活動の充実ぶりが見られました。また、郡市中体連駅伝大会は女子5位、男子7位と県大会出場は叶いませんでしたが、厳しい夏の暑さの練習に耐え、たくましく成長した選手たちの姿を見ることができました。大会当日は、たくさんの保護者の声援を力にかえ、「持てる力」を出し切って走る選手の姿に感動しました。その他、食



育の視点から、自分で弁当をつくるmy弁当の日(1日)、3年生うたせ船体験(地域理解:8日)、生徒の手による「論語集会」(12日)も感染対策をとったうえで実施することができました。さらに、学校行事の充実のみならず、学力向上に向け、朝自習では読書と基礎学力充実の曜日を決め取り組んだり、教育相談の時間は「黙々タイム」(11月)を設定したりしながら、「文武両道」を図っていきます。教職員も10月6日(水)



には、吉井教諭が数学の研究授業(「相似と比」)の中で、ICTを効果的に活用した授業公開を行い、授業改善につなげていました。来月は教科等研究会において、尾川教諭が道徳を、小森教諭が音楽の研究授業を行います。また、榮永教諭も情報教育部会の実践発表を県下に発信します。「チ



ーム田浦中職員」も教職のプロを目指し、日々「わかる授業」づくりに向け、研究実践を積んでいます。今後、3年生県下一斉の共通テスト、1・2年生は、県下統一問題の「県学力・学習状況調査」が実施されます。学校では、「わかる授業」づくりに努めていきます。ご家庭では家庭学習の頑張りをお願いし、家庭と連携した取組によって、「基礎学力」を身に付けさせていきたいと思ひます。ご協力のほどよろしくお願いしします。

「田浦中学校HP」で検索を 随時情報発信！